

# 会社紹介

---

# 弊社概要

I.M Corporation

株式会社アイエム（東京都 池袋）

設立：平成5年3月 ※29期目

資本金：83,000（千円）

従業員数：約80名

協力企業、エンジニア数：約30社、100名（SES）

## 主なシステム開発実績

航空貨物管理システム

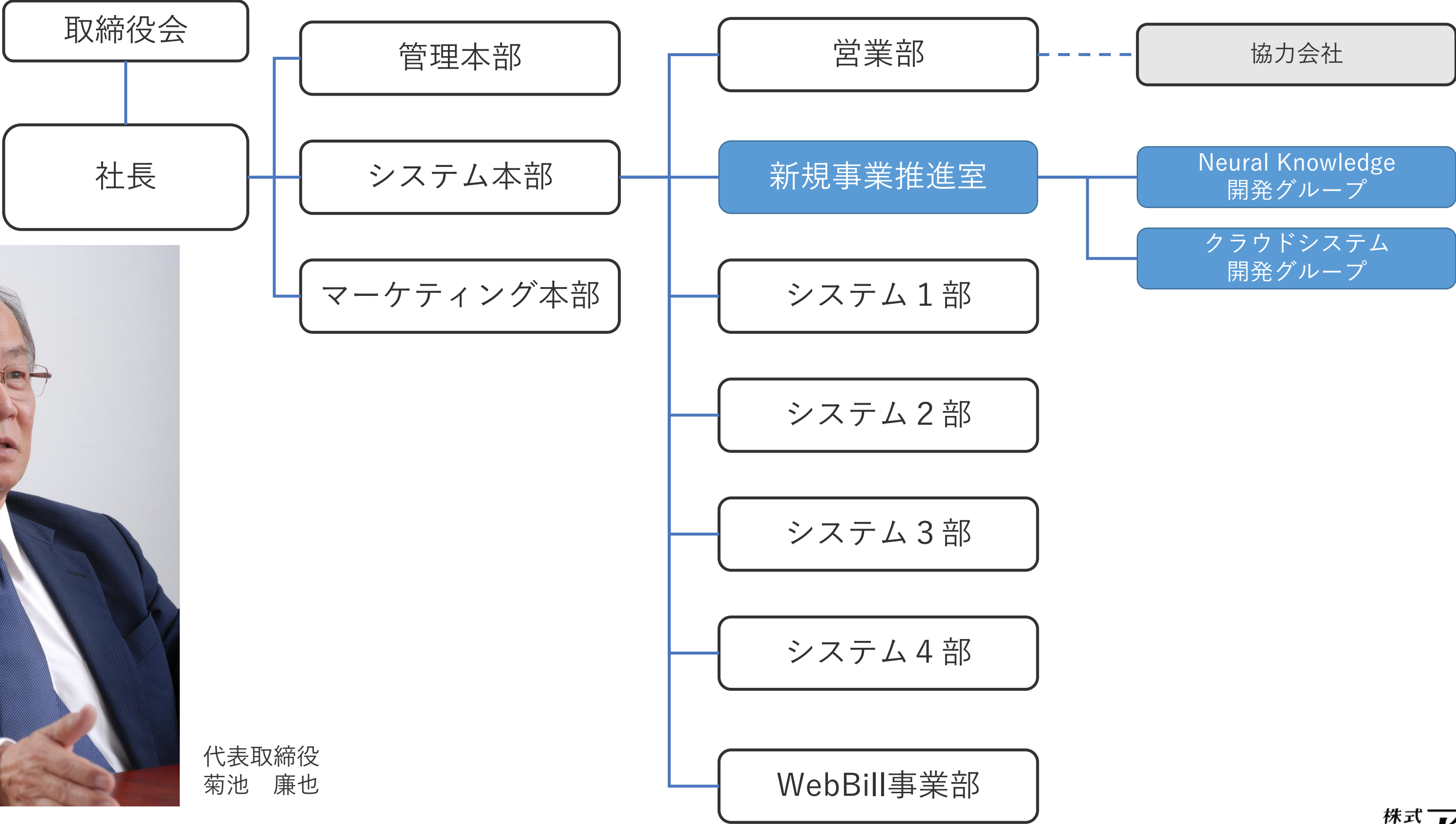
銀行様向け融資システム

通信事業者向け課金システム

その他システム開発プロジェクトへの技術者参画多数



# 組織図



代表取締役  
菊池 廉也



## 金融業界



- 銀行・証券・保険
- 預金、融資、内外為替
  - 注文約定、社債受託
  - 保険販売サポート端末
  - クレジット

28年

## 人工知能開発



- チャットボット
- 画像解析
- 新技術研究開発
- セミナー主催

## クラウド活用技術



- WEBシステム
- IoTデバイス連携
- ソリューション化

## 通信業界



- 固定・携帯・ISP
- 顧客管理
  - 料金計算
  - 請求精算

21年

## データ活用



- 業界業種問わず
- ETL（データ抽出）
  - DWH構築
  - BI分析ツール導入

7年

SEサービス  
8

既存分野

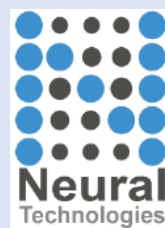
受託・自社開発  
2

注力分野

# 主要取引先

I.M Corporation

技術支援, パッケージ



導入



AIチャットボット



AWS, Webシステム



業務システム技術支援



SES技術者提供



# AWSの画像認証を活用した航空会社向け提案



I.M Corporation

呼気アルコール検査データ  
管理システム（開発中）

< 航空局認可申請予定 >

乗務員による呼気検査の実施

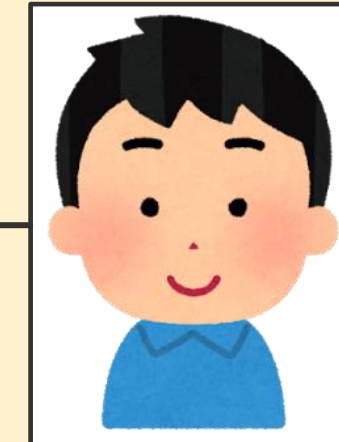


検査実施者の画像

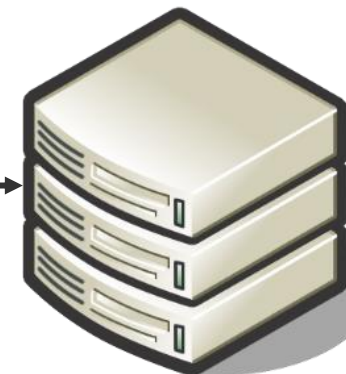


AWS Cloud

乗務員の画像データ



自動記録



検査  
データ

検査結果の通知



- ・フライト情報
- ・乗務員情報
- ・マスタデータ

Amazon Rekognition  
Imageによる顔画像認証  
によって検査実施者を本人特定。なりすましを防止する。

# 社内問合せ対応チャットボット

I.M Corporation

- 社員（約8,000名）との給与・人事・総務などに関するQ&Aの自動応答システム
- IBM社製のAIエンジンWatsonを利用。運用開始後も教師データの更新等、保守サポート中





# 人工知能技術「Neural Knowledge®」

I.M Corporation

## ■ AIの新しい理論・考え方 ～覚醒型人工知能～

目標は、ディープラーニングと融合させた高度なAIをシステムに実装すること。

「ニューロンナレッジ人工知能研究所」協力の下、覚醒自律型の推論モデルに沿った開発プラットフォームを開発中。

## ■ 東京大学主催 産学連携プロジェクト（UMP-JUST）への参加

プラットフォーム開発促進と、実用化のアイデア・PoCの提案、共同研究・開発の可能性を模索

## ■ 理論普及のためのセミナー開催

ITとソフトウェア > その他 > 人工知能

### 新人工知能シリーズNeuralKnowledge理論講座 ① ～現代の人工知能の課題とその解決策～

機械学習やディープラーニングでは実現できないまったく新しい人工知能理論を本邦初公開！人の感情表現、自己学習することを目指したまったく新しい人工頭脳であるNeural Knowledgeの理論編。

3.9 ★★★★★ (53件の評価) 73人の受講生

作成者: 増田和宏 Kazuhiro Masuda

🕒 最終更新 7/2020 🌐 日本語

Wishlist ♡共有 ➡このコースをプレゼントする



このコースをプレビュー

Aug. 17, 2020に購入しました。

コースへ移動

30日間返金保証





アイエム

検索